

かみのかわ
栃木県上三川町教育委員会発行図書のご案内

①発掘調査報告書

埋蔵文化財調査報告第2集 多功廃寺跡 昭和55(1980)年4月発行 B5版 15頁

古代の官衙遺跡。昭和54年に実施した発掘調査では、建物跡が部分的に確認されたほか、土師器・須恵器や瓦類も出土した。

埋蔵文化財調査報告第6集 西赤堀狐塚古墳 昭和62(1987)年9月発行 B4版 41頁

墳丘全長25.4mの6世紀後半の帆立貝形の前方後円墳。昭和61年に行なわれた発掘調査では横穴式石室、周溝が確認されたほか、墳丘のテラス上からは人物埴輪などの形象埴輪や円筒埴輪が出土している。

埋蔵文化財調査報告第9集 島田遺跡Ⅱ 平成3(1991)年3月 B5版 47頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和59～60年に実施した発掘調査では、旧石器集中地点1箇所、縄文時代中期の住居址1軒・土坑6基、古代の住居址の5軒が確認された。

埋蔵文化財調査報告第10集 上ノ原・向原南遺跡 平成4(1992)年7月 B4版 108頁

平成元～2年に実施した発掘調査で、上ノ原遺跡では弥生時代後期の住居址が10軒、古墳時代前期の住居址が6軒、奈良時代の住居址が1軒確認され、向原南遺跡では弥生時代後期の住居址が4軒、古墳時代後期の住居址が12軒、古代の住居址が35軒、掘立柱建物址が1棟確認される。

埋蔵文化財調査報告第13集 殿山遺跡Ⅰ 平成7(1995)年2月 A4版 264頁

縄文時代から古代の集落跡。平成3・4年に実施された発掘調査では、縄文時代の土坑3基、弥生時代の住居址21軒・土坑15基、古墳時代の住居址447軒・土坑15基・方形周溝墓2基・墓坑2基・方形周溝跡1基、奈良・平安時代の住居跡162軒・井戸跡22基、火葬墓1基、中世の方形礎石跡11基、溝23条が確認される。縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器のほか、斧・刀子・鎌などの鉄製品、銅製の鈴、石製模造品、子持勾玉・勾玉などの石製品、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦のほか中世の陶器片が多数出土。北部分の調査を本書で報告。

埋蔵文化財調査報告第18集 坂上北原遺跡 平成10(1998)年3月 A4版 23頁

古墳時代から平安時代の集落跡。平成9年に行なわれた発掘調査では、古墳時代中期の住居跡が5軒、奈良・平安時代の住居跡が2軒のほか、溝跡2条・土坑1基が確認された。

埋蔵文化財調査報告第19集 上神主・茂原遺跡Ⅰ 平成11(1999)年3月 A4版 64頁

古代の官衙遺跡。本報告書は平成7年から平成9年度の調査概報。調査では瓦葺礎石建物跡が1棟、掘立柱建物跡が3棟確認された。出土遺物としては193点出土した文字瓦が特筆される。

埋蔵文化財調査報告第20集 五分一上野原遺跡 平成11(1999)年3月 A4版 30頁

古墳時代前期・後期及び奈良・平安時代の集落跡。平成10年に行なわれた発掘調査では、古墳時代前期の住居址4軒と古墳時代後期の住居址4軒、古代の住居址2軒が確認されたほか、縄文時代草創期隆起線文土器、多縄文系土器片、早期初頭井草Ⅰ式土器が出土している。この他にも弥生時代後期の土器片が多数出土。

埋蔵文化財調査報告第21集 上三川の古墳Ⅰ 平成12(2000)年3月 A4版 60頁

常光坊古墳(後期・前方後円墳)、高ヲ神社古墳(後期・前方後円墳)、夜泣き止め塚古墳(後期・円墳)、坂上41号墳(小石室)、しらみ塚古墳(後期・前方後円墳)、上郷25号古墳(後期・円墳)、上郷26号古墳(後期・円墳)、上郷27号古墳(後期・円墳)の発掘調査報告書。

埋蔵文化財調査報告第22集 向原遺跡 平成12(2000)年3月 A4版 94頁

古墳時代後期から平安時代の集落跡。平成10年に行なわれた発掘調査では、古墳時代の住居址11軒、奈良・平安時代の住居址23軒、9世紀代の火葬墓などが確認された。出土遺物としては、土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・瓦・鉄製品のほか木製の蓋が出土している。

埋蔵文化財調査報告第23集 北原東遺跡 平成12(2000)年3月 A4版 22頁

奈良・平安時代の集落跡。平成11年に行なわれた発掘調査では、住居址3軒、土坑11基、土葬墓2基が確認された。なお、土葬墓より平安時代後期(12世紀頃)の鏡か鏡箱(漆器)を伴って一面出土した。

埋蔵文化財調査報告第24集 坂上北原遺跡 平成12(2000)年12月 A4版 46頁

古墳時代の古墳及び集落跡。平成11年に行なわれた発掘調査では、古墳3基、古墳時代前期の竪穴住居跡1軒、古代～中世の墓坑5基、火葬跡1カ所、地下式墳1基が確認された。古墳時代前期の集落と、後期古墳群の一部を調査。

埋蔵文化財調査報告第25集 八幡前1号墳 平成13(2001)年3月 A4版 36頁

古墳時代後期の推定径35.6mの円墳。平成元年に行なわれた発掘調査では、床石が残るのみであったが横穴式石室確認されたほか、周溝も確認され、ガラス玉や土製小玉のほか、勾玉・管玉・耳環などの副葬品が出土した。

埋蔵文化財調査報告第27集 上神主・茂原官衙遺跡 平成15(2003)年3月 A4版 203頁

古代官衙の官衙遺跡。国史跡。平成7年から平成15年までに行なわれた発掘調査では、政庁跡と正倉跡等が確認され、その遺構配置から河内郡衙と考えられる。礎石建物跡1棟、掘立柱建物跡60棟のほか、区画溝と東山道と考えられる道路跡も確認されている。本遺跡唯一の瓦葺建物である礎石建物跡からは、1,200点弱の人名を主体とする文字瓦が出土している。

埋蔵文化財調査報告第28集 島田遺跡Ⅲ 平成16(2004)年3月 A4版 144頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。本報告書ではⅣ～Ⅶ次において確認された縄文時代中期の遺構と出土した土器について掲載。昭和61年から平成4年までに行なわれた発掘調査では、竪穴住居跡が22軒と268基の土坑が確認され、縄文土器と各種石器、石製品と土製品が出土。

埋蔵文化財調査報告第29集 磯岡遺跡 平成16(2004)年3月 A4版 70頁

古墳～古代の集落跡。平成15～16年に実施した発掘調査では、古墳時代中期の住居址が1軒、古墳時代後期の住居址が17軒と古代の住居址が2軒確認された。このほかにも、30基の土坑と4棟の掘立柱建物が確認されている。

埋蔵文化財調査報告第30集 西赤堀狐塚古墳第2次調査報告 平成17(2005)年2月 A4版 35頁

本古墳は昭和61年に部分的に発掘調査を実施したが、再度平成15年に発掘調査を実施し、ほぼ大部分を調査した。調査では新たに粘土槨が確認されたほか、土師器・円筒埴輪が出土した。

埋蔵文化財調査報告第31集 島田遺跡Ⅳ 平成17(2005)年3月 A4版 42頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年までに行なわれた発掘調査では、縄文時代の竪穴住居跡が22軒と土坑268基が確認され、縄文土器と各種石器、石製品と土製品が出土。本報告書では縄文時代の遺構及び遺物写真とⅣ～Ⅶ次において出土した縄文時代中期の石器・石製品・土製品を掲載。

埋蔵文化財調査報告第32集 磯岡遺跡第2次調査報告 平成17(2005)年10月 A4版 24頁

古墳時代から平安時代の集落跡。平成17年に行なわれた発掘調査では、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡が6軒確認されたほか、土坑跡12基などが確認され、土師器及び須恵器が出土した。

埋蔵文化財調査報告第33集 島田遺跡V 平成18(2006)年3月 A4版 158頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年まで行なわれた発掘調査では、縄文時代の竪穴住居跡が22軒と土坑268基が確認され、縄文土器と各種石器、石製品と土製品が出土。本報告書ではⅧ・Ⅸ次調査の成果及び、昭和61年からの調査を通じての縄文時代の遺構及び集落の動態に関する成果と問題点を記載。

埋蔵文化財調査報告第34集 島田遺跡VI 平成19(2007)年3月 A4版 115頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年まで行なわれた発掘調査では、縄文時代の竪穴住居跡が22軒と土坑268基が確認され、縄文土器と各種石器、石製品と土製品が出土。本報告書では遺構外から出土した旧石器時代及び縄文時代出土資料について掲載。

埋蔵文化財調査報告第35集 島田遺跡VII 平成22(2010)年3月 A4版 132頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年まで行なわれた発掘調査では、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡が108軒と掘立柱建物跡15棟などが確認され、土師器と須恵器、石製品と鉄製品が出土。本報告書ではⅣ・Ⅴ次調査の成果を記載。

埋蔵文化財調査報告第36集 島田遺跡Ⅷ 平成25(2013)年3月 A4版 122頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年まで行なわれた発掘調査では、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡が108軒と掘立柱建物跡15棟などが確認され、土師器と須恵器、石製品と鉄製品が出土。本報告書ではⅥ・Ⅶ次調査の成果を記載。

埋蔵文化財調査報告第37集 上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ 平成27(2015)年3月 A4版 140頁

古代官衙の官衙遺跡。国史跡。平成18年から平成25年までに行なわれた発掘調査では、整備計画に向けた情報の収集を目的に実施し、新たに竪穴建物跡や掘立柱建物跡が確認され、文字瓦資料も約1,100点出土した。これまでに約2,300点の人名を主体とする文字瓦が出土している。

埋蔵文化財調査報告第38集 坂上北原遺跡(東プレ地区)Ⅱ 平成29(2017)年3月 A4版 138頁

古墳時代の古墳及び集落跡。平成27年から平成28年にかけて行われた発掘調査では、古墳時代終末期の古墳12基、土坑9基のほか古墳を転用した中世の石積遺構1基が確認され、土師器と須恵器、直刀や馬具などの鉄製品、切子玉などの石製品が出土した。これまでの調査とあわせて計27基の古墳が確認されている。

埋蔵文化財調査報告第39集 新出遺跡(第2次調査) 平成29(2017)年7月 A4版 71頁

古墳～平安時代の集落跡。平成29年に行われた発掘調査では、竪穴建物跡11軒、溝跡1条のほか、中世の竪穴建物跡1軒が確認され、土師器と須恵器などが出土した。1辺9m以上の竪穴建物跡が見つまっていることから、拠点集落であったことが推測される。

埋蔵文化財調査報告第40集 島田遺跡Ⅸ 平成31(2019)年3月 A4版 140頁

縄文時代・古墳～平安時代の集落跡。昭和61年から平成4年まで行なわれた発掘調査では、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡が108軒と掘立柱建物跡15棟などが確認され、土師器と須恵器、石製品と鉄製品が出土。本報告書ではⅧ・Ⅸ次調査の成果とⅣ～Ⅸ次調査の写真図版を記載。

※ 発掘調査報告書は無料頒布です。ご希望の場合は、上三川町教育委員会までお問い合わせください。頒布可能な報告書を掲載しておりますが、在庫がない場合もございますので、ご了承ください。

※ 有料図書をご希望の場合は、購入方法をHPにてご覧ください。なお、無償頒布が可能な場合もありますので、上三川町教育委員会までお問い合わせください。

【上三川町ホームページ】 <https://www.town.kaminokawa.lg.jp/index.html>

※ 郵送料は、原則着払いにてご負担いただきますが、例外もございますのでお問い合わせください。

②その他の刊行物

上三川町誌 昭和50年3月 A5版 439頁 2,000円

昭和30年の昭和の大合併から、新上三川町誕生20周年が経過した昭和50年まで、上三川町の概要、行政機構、町財政の推移、選挙、議会、産業経済、交通と通信、都市計画等を振り返る。

上三川町史 通史編 上巻 昭和56年12月 A5版 679頁 2,000円

旧石器時代から江戸時代までを収録。古墳時代、中世における上三川城と多功城の興亡、そして農村として発展を遂げた、江戸時代までを詳細に収録する。

上三川町史 通史編 下巻 昭和56年12月 A5版 806頁 2,000円

本巻では、明治・大正・昭和前期の行政・土地・産業・農業経営・教育・生活等の各分野にわたって、郷土を背景として奔走した先人の姿を収録。

上三川町史 史料編 原始・古代・中世 昭和54年8月 A5版 643頁 2,000円

上三川の遺跡、古墳、関連する古代の文献資料、上三川城・多功城に関わる文書、系図・文書、系図・町内外の家譜・過去帳、記録・戦記・沿革縁記、城館址と金石文について収録。

上三川町史 史料編 近世 昭和54年8月 A5版 535頁 2,000円

近世農民を中心にその社会形態、農業経営、交通、飢饉・災害について収録したほか、「農業自得」で著名な近世農学者田村仁左衛門に関わる史料を収録。

上三川町史 史料編 近現代 昭和55年3月 A5版 763頁 2,000円

明治・大正・昭和戦前期にかけての行政・産業・教育・生活及び各種統計史料を収録。

かみのかわ 歴史百話 平成12年3月 A5版 207頁 1,000円

昭和63年から平成10年まで広報かみのかわ紙上に連載した「歴史を語る文化財」をまとめて収録。

かみのかわの伝説と民話 平成29年3月 A5版 207頁 300円

町内に古くから伝わる伝承や昔話を全26編収録。昭和46年に発行された同書の復刻版。

かみのかわの伝説と民話 続編 平成29年3月 A5版 207頁 300円

町内に古くから伝わる伝承や昔話を全30編収録。昭和51年に発行された同書の復刻版。

【お問合せ先・連絡先】

〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地
上三川町教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習係
TEL: 0285-56-9159 FAX: 0285-56-6691
e-mail: gakusyu01@town.kaminokawa.lg.jp